

## 法務省予算監視・効率化チーム第7回定例会合議事概要

- 日時 平成23年11月16日(水)午後3時～午後5時25分
- 場所 最高検察庁大会議室(20階)
- 出席者 法務省予算監視・効率化チームのリーダー(副大臣)、事務局長(官房長)、メンバー及びアドバイザー
- 議事 ① 予算執行上の重要な決定等についての事前審査及び事後報告  
・補助金等の交付決定(1件)  
・重要な調達(31件)  
(案件は、別紙のとおり)
- ② 平成23年度上半期の支出計画の進捗状況
- ③ 平成23年度上半期の取組全体の自己評価
- 概要 議事については、全て承認を得た。アドバイザーからの主な質問・意見等は、以下のとおりである。

### 予算執行上の重要な決定等についての事前審査及び事後報告

- (防災通信機器(衛星携帯電話)配備に関し)衛星携帯電話のコストは適切なのか。また、ランニングコストがかかるものであるから、通常時も有効活用すべきではないか。  
使用方法等について、実際の震災等を想定し、訓練や決め事をしておいた方がよい。また、電源の確保等も併せて検討した方がよい。
- (平成24年度大阪中之島合同庁舎建築設備総合管理業務委託に関し)総合管理業務委託の内容は毎年変わらないと思うが、年々予算額が増えているのはなぜか。  
国庫債務負担行為による3年契約のような契約制度を導入することで、管理費が減額されるのではないか。
- (平成24年度東京拘置所庁舎管理業務委託に関し)業務委託の内容は毎年変わらないと思うが、年々予算額が増えているのはなぜか。契約金額が高止まりしている感じがするが、具体的項目を精査した結果であるのか。
- (東日本大震災倒壊建物の滅失調査作業に関し)概算所要額は、どのくらいの人月で積算されているのか。今後は、金額の妥当性を判断できるような資料を作成してほしい。
- (東日本大震災に伴う地図の修正(土地の境界の復元)作業に関し)土地家屋調査士に作業を委託する旨記載されているが、その結果、実際に地図情報システムによる修正を行うには、別途コストがかかるのか。
- (登記情報センターへの無停電電源装置及び空調設備設置に関し)業者見積りを入札実績を基に査定したとあるが、複数者から見積りを取ったのか。
- (登記情報システム用電子計算機等借入れに関し)削減効果が足りないのではないか。機器は通常の汎用のものであれば他社も参入できると思われ、20%位の削減を目標にやってほしい。

- （登記情報システムアプリケーション保守等委託に関し）アプリケーション保守の調達について、これから始まる社会保障・税に関わる番号制度に基づいた法人等付番機関への情報提供システムの基本設計等を、なぜ併せて調達しなければならないのか。これはベンダーロックインになっているのではないか。
- （地図情報システムの更新用機器等に関し）磁気ディスクをどのくらい増設する計画なのか。コンピュータの情報技術の進歩を考えると、概算所要額があまりにも高すぎるのではないか。これも今の業者以外も参入できるのだから、見積りを複数の業者に出させるということが必要なのではないか。  
資料だけ見ると規模感が読み取れないので、今後は、資料の中に、規模と中身を評価しやすいような形で記載していただきたい。
- （業務代行システムに関し）業務代行というのは、地震等の対応のために、同様の構成のシステムを西日本に作るということか。この費用は、利用者から回収して償却することを考えているのか。法務省が提供するサービスのためにシステムを構築するならば、そのサービスの追加のところは、利用者に手数料を負担させても問題ないと思う。  
震災等のためのバックアップは必要なことであるが、常に同じサービスが提供できなければならないのかということとは、少し考えてもよいのではないか。有事の際には一時的に申請できないということはあるともいいと思うが、どこまでやるかは選択の余地があるところであり、法務省はどのように考えているのか。
- （登記ゲートウェイシステムを構成する機器等に関し）2月に入札公告し、4月に契約締結となっているが、初めて公告を見た人が2か月間で応札できるのか。多くのベンダーが参加できるように公告の期間をもう少し長くすべきではないか。

## 平成23年度上半期の取組全体の自己評価

### （職員からの意見・提案）

- 人事異動は、2年サイクルよりは3年サイクル程度で行うと技術の習熟に伴う効率化が図られるのではないか。
- 法規集又は判例集のペーパーレス化、データベース化については、非常に費用がかかると思うが、将来的には不可避な流れと思われるので、今から準備しておけばよいのではないか。
- 電気、ガス、水道、電話料金の自動引落しが行われれば、事務処理が効率化されるのではないか。所管が財務省だということであれば、法務省から財務省に提案してもいいのではないか。

### （その他）

- 「予算執行の効率化」と記載されているが、「予算執行手続の効率化」や「予算執行の適正化」という表現の方がいいのではないか。
- 「監視」という言葉も余り適切ではない。「点検」という親しい言葉がいいのではないか。

## 重要な調達等に関する事前審査及び事後報告

(補助金等の交付決定)

- ・ 人権啓発活動等委託費（地方委託費・追加委託）

(重要な調達)

- ・ 防災通信機器（衛星携帯電話）配備
- ・ 中央合同庁舎第6号館施設管理・運營業務
- ・ 平成24年度大阪中之島合同庁舎建築設備総合管理業務委託
- ・ 平成24年度東京拘置所庁舎管理業務委託
- ・ 法務省浦安総合センターにおける施設管理・運營業務
- ・ 東日本大震災倒壊建物の滅失調査作業（茨城県・福島県全域及び宮城県の一部）
- ・ 東日本大震災倒壊建物の滅失調査作業（宮城県及び岩手県追加分）
- ・ 東日本大震災に伴う地図の修正(土地の境界の復元)作業（23年度3次補正分）
- ・ 東日本大震災に伴う地図の修正(土地の境界の復元)作業（24年度要求分）
- ・ 登記情報センターへの無停電電源装置及び空調設備設置
- ・ 登記情報システム用電子計算機等借入れ（平成24年度）
- ・ 登記情報システム用附帯設備借入れ（平成24年度）
- ・ 登記情報システム機器等更新に伴うデータ移行及びシステム切替作業（平成24年度）
- ・ 登記情報システムアプリケーション保守等委託（平成24年度）
- ・ 制度改正等に伴う登記情報システム仕様変更（平成24年度）
- ・ 地図情報システムの更新用機器等（平成24年度）
- ・ 地図情報システムに係る事務処理用端末装置等（平成24年度）
- ・ 地図情報システムに係る運用等経費（平成24年度）
- ・ 震災復興に係る地図情報システム機能開発委託（平成24年度）
- ・ 登記情報提供システムの業務代行システムの設計・開発等作業（平成24年度）
- ・ 登記・供託オンライン申請システムの業務代行システムの設計・開発等作業（平成24年度）
- ・ 業務代行システムとの連携のための機器借入れ（地図情報システム）（平成24年度）
- ・ 業務代行システムとの連携のための開発委託（地図情報システム）（平成24年度）
- ・ 登記・供託オンライン申請システムの利便性の維持向上等のための開発（平成24年度）
- ・ 登記ゲートウェイシステムを構成する機器等（平成24年度）
- ・ 供託事務処理システムの業務代行システムの稼働のための設計・開発等作業（平成24年度）
- ・ 成年後見登記の事務に係る業務委託
- ・ 検察総合情報管理システムの業務アプリケーション保守
- ・ 平成24年度矯正施設被収容者主食用うるち玄米の調達
- ・ 平成24年度喜連川社会復帰促進センター診療所管理委託
- ・ 平成24年度長野刑務所医務課診療所管理委託